

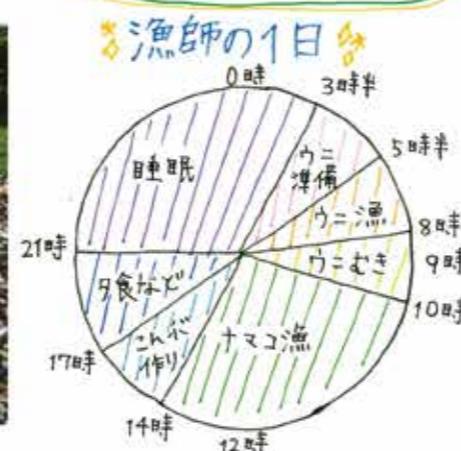
## 身を世界遺産に!!

大沼優介さん × 佐々木修さん



大沼さんは利尻に来て漁師という仕事を知り、自分で採った分自分に返ってくる」ということがやりかいがあると思い、利尻で行きあたりばったりで、佐々木さんに会い「漁師になりたい」と頼み漁師になろう。

親も漁師だったのでその後を継ぎた。若い頃に組合のランキンクで、500人中1位を取ったことがある。海産物×インのお店を札幌・東京などの都会で開きたいと考えている。



## ブラジルからやってきた!!

エジナミツコ  
コヤマ  
アガーブトさん

- Q.A -

Q 利尻の観光スポットで一番好きな所

A ホン山・夕陽の見える場所。ホテルから見える海・空・山。

Q 仕事のやりがいは?

A お客様が美味しいから嬉しいと笑顔で言ってくれること。

Q ブラジルから日本に来た边境は?

A 飛行機の中で立って寝て繰り返しても不安だった。



team\_02 11つぶ 松谷きり／井田百花  
三上悠生希

**島の方言**

島を想う気持ちから、昔の遊びをまとめた『島の方言』が島の方言が古なよと発行した。

「島の方言には島に来たと実感できる」

わたしの忙しい1日

萬さんの保険外交員だった時のある1日。仕事漬けの毎日だったのが、うかがえる。

合間に琴のお稽古

日中は食堂に立つ。

仕事

睡眠

朝食

午食

夕食

就寝

『我慢できなくなつたんです』

島形、本泊の國民学校(現在の小中学校)に6年勤めた萬さん。終戦直後、教師たちに謀殺されたのは「黒ぬり」。今まで良いとしてきたものが悪いと言われようになつた。これにどうしても耐えられなかつたの。

Story of カルタ

今の子どもは1対1の遊びばかり。標準語が増えてるじゃない。書き込みでおがなきや!!

条件は、800円とハンドバッグ!

方言なんて、今じゃそんなに使わないでしょ?

島の方言を失いたくない。子どもたちが大勢で楽しめるような遊びを...方言かるたは、萬さんのそんな想いがこめられています。価格800円以下、ハンドバッグに納まるサイズも萬さんのこだわり。

完成!!

18

team\_02 11つぶ 松谷きり／井田百花  
三上悠生希

コンブ加工業やってます

元漁師!!

88歳

あさ もと 利尻コンブ

すすむ 岩吉

好きな言葉「挑戦」

よく考える性格です。

失敗のあの反省が大切

# 秋元進

『公害のない海で採れるコンブ』

いつまでも奥さんと一緒に2人3脚

(左) とろこんぶ (右) あぼうこんぶ

おぼうこんぶに立つて全て手作業でつくられるまさに職人芸

妻の言葉は偉大です

秋元さんは島の方言を失いたくない。子どもたちが大勢で楽しめる遊びを...方言かるたは、萬さんのそんな想いがこめられています。価格800円以下、ハンドバッグに納まるサイズも萬さんのこだわり。

趣味は盆栽です

秋元さんは島の方言を失いたくない。子どもたちが大勢で楽しめる遊びを...方言かるたは、萬さんのそんな想いがこめられています。価格800円以下、ハンドバッグに納まるサイズも萬さんのこだわり。

秋元さんは自身の健康管理も忘れない。まだまだ仕事をしたい。若い人に島の名産品を継承したい。

19

wwwwwwwwwwwwwwwwww



maruzen pension  
**RERA MOSIR** 

直訳すると、「レラ」は風、「モシリ」は人の住んでいる島を表す。  
「風」を感じられるテラスやお風呂。  
「人が住んでいる」ようすよ、あたたかく、  
落ちついた空間。  
ここにいるのは、社長である渡辺さんと  
従業員の北井さん。

山を知りつくす男 渡辺 敏哉

「山には1年に30～40回以上登る」という渡辺さんは  
「ペンションレラモシリ」を経営するほか、登山ガイドとして  
自身のSNSに島の動画や写真をのせたりして、  
島の魅力を伝えている。

「夏だけではなく、春や冬の季節にも興味をもつて、呪文を運んでいました。」

利尻に来て人生が変わった 北井 奈緒

保健師として、利尻にやって来た北井さんは、島の豊かな自然や魅力的な人に出会ったことで、自然を相手にした仕事に興味をもつたという。言語理師免許を取得し、渡辺さんが釣った新鮮な魚などを言語理して、お客さんにくるまでいる。

「今やりたいことを考えたとき、ガイドをやりたいと思ふ。」



日本空手協会  
Japan Karate Association



黒川 哲義

黒川さんは、週3回 仕事の合間に空手を教えている。人数の減少で「空手道場が」なくなる危機に、「少ない人数で元気な子どもたちの想いに応えた!」と空手を教える始めた。現在では 全国大会に 4人が出場すなど、多くなった。空手で「精神で」、堂々と自信をもった人間になつてほしいと笑顔で語っていた。

No guts, No glory!

自分に負けない精神や、あきらめずに元気張る気持ちを伝えたい。



利尻富士町空手少年団は、  
毎3回 町営「牛糞城食堂」  
で"食事"習している。



## BOOKS 佐藤 悟さん 春美さん



本屋を経営して21年目に入った佐藤大輝。  
21年をめは、春美さんが下宿していたときの友達が  
悟さんでそこから仲良くなったりました。  
悟さんの趣味はバレーボールで少年団の指導者をして  
います。春美さんは手芸、園芸が趣味だそうです。

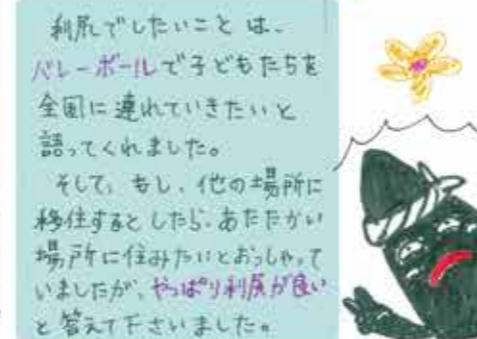
HON KONYA

今と昔の利尻が変わったことについて  
聞いてみると、人口も減ったし「帆りげ」が  
なくなったとおっしゃっていました。  
道路などもキレイになおさなくて良いから  
昔のような利尻に戻ってほしいなあと高  
てくられました。



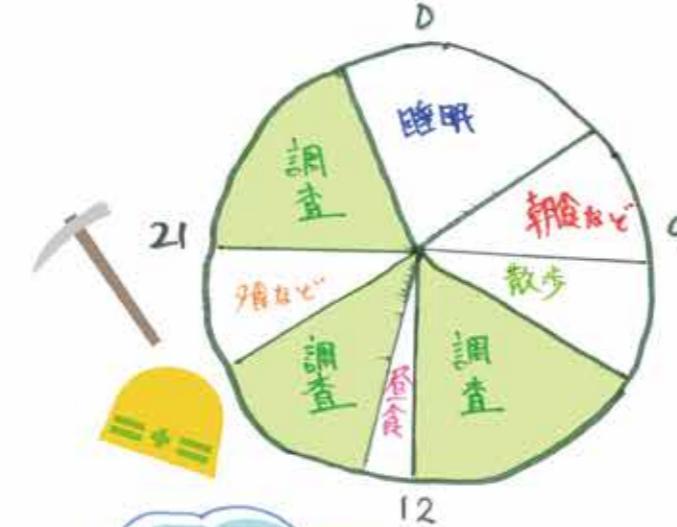
利尻でしたいことは、  
バレーボールで子どもたちを  
全国に連れていきたいと  
語ってくれました。

そして、もし、他の場所に  
移住するとしたら、あたたかい  
場所に住みたいとおっしゃって  
いましたが、やっぱり利尻が良い  
と答えて下さいました。



## へへへへへへへへへへへへ

## 西谷榮治に休日はない！



## 西谷榮治さん

学生時代遺跡の発掘  
調査や歴史に熱中して  
いた。趣味は、本を読む  
ことで、特に好きな本は、  
「かわいいかわい節の同時代史」  
元学芸員で博物館に関わって  
いるアリカの「ラナルド・マクドナルド」  
の歴史を詳しい調査や  
地域の祭りごとにも  
関わっている。

西谷さんは、毎日ラナルド  
マクドナルドの調査や  
利尻島の歴史について  
調べているため、毎日か  
忙しいスケジュールになっている。  
また、調べるということが  
趣味のような感じになっている  
そうだ。



## 利尻について

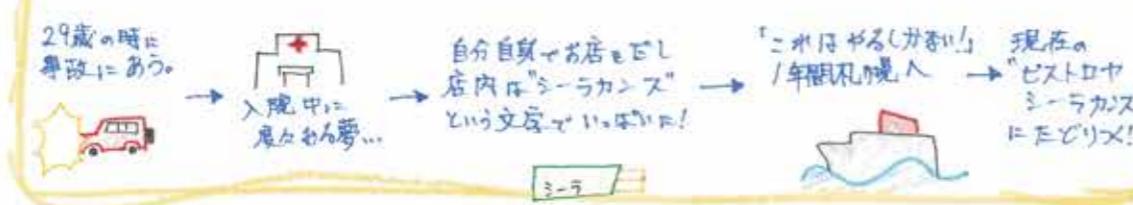
西谷さんが調べていった結果、利尻が変わり始めた時期は、昭和45年  
となっている。その理由は、自動車が島に入ってきたこと。このようにして  
道路がきれいに整備され、個人でも、車を買う人が増え、バスも使われなくな  
っていました。これらをふまえ島の人々は、どんどん便利を追求していくのかと思う。  
西谷さんは、この利尻島にいる利尻の歴史博士だと私は思う。  
利尻にきて、利尻の歴史などを見たい場合は、博物館に行けり。西谷さんに会う機会があれば  
歴史などを聞いてみてもよいだらう。

## へへへへへへへへへへへへ

## 新谷卓美さん

心を込めて  
大切に作ってあります。

ピストロや シーラカンスを営む、新谷卓美さん。通称ボス。この場所で利尻を見続けてきた。お店を始めた当初はメニューの葛藤。利尻の味をしつつも、イタリアンという本格からはずれてはいけない料理。そんな中で生まれた料理は食べた人が笑顔で幸せになれる料理です。



おすすめのメニューは、「お肉」と「パスタ」。牛サーロインステーキにシーラカンス風地鶏のかぶあら...。たまごのバッティーニに、パンネボロネーゼ。度々変わる「本日の  
おすすめ」は利尻。味が豊富に詰め込まれています。

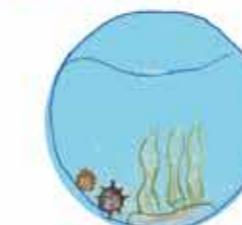


## 大城光平

ゆざわざ  
沖縄→利尻  
へ!!

"利尻の自然と海が好き"  
沖縄出身の大城さんは、  
水産の仕事が好きで種苗センターへ。

利尻は食べ物がおいしい! 千物じゅうまい  
ホッケは、利尻に来るまで見たことがなかった。地元おじいちゃんの隊の任期終了後。  
「この面白い島に残りたい」という



ウニヤナマコの  
種苗を生産

地元利尻  
鬼脳生まれ



種苗センター  
6年目

石川亮太

石川さんの前の仕事は二つが専門店。

集魚ウニを販売するためボンベをしゃって海に入ったりする  
「この仕事が大好き」という。

川原 kawahata 玉里 (79) Tadashi

Q 仕事も頑張ってける理由は?  
A 「家族、仕事仲間の支えがあるからこそ頑張れます。若い人に負けたくない」という一面も。。。

Q 利尻の好きな所は?  
A 「環境・自然が良い居心地がよく住みやすい!」

Q よく見るTVは?  
A 「天気予報・ニュース」  
川原さんは、その日の風や天気 海の様子を見て天候を予想することができるそうです。

入に寄り添うがもめ  
りしり富士  
ポン山  
たこ  
これからやりたい事は?  
利尻の漁業について若い人たちに知恵を持たせたい!  
うに  
にしん  
こんぶ  
ほたて

27

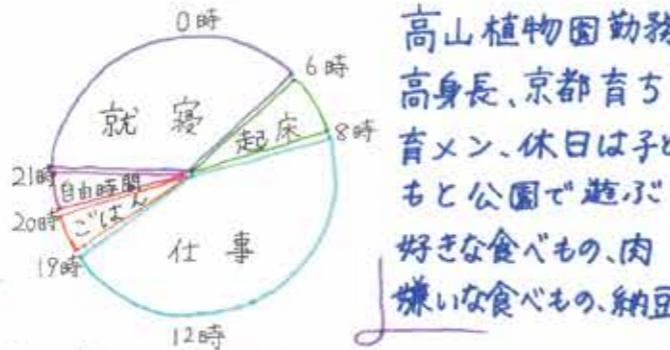
team

## 礼文高校





## 村山 誠司さん



✿✿ Re bun ✿✿

10年前に旅行で礼文に。

3年前に仕事で移住。礼文に来た時の印象は、地域が狭く人の間係が濃い町だと思った。京都の懐しさも覚えたと語る。

生まれ育った京都より、気候的に礼文の方へ住みやすいと言う。

礼文をPRしてください!!



自然が豊かなところや、  
人の温かさが魅力です!

## Work

主な仕事内容はレブンアツモリソウの培養。  
増殖の仕事は気の長い仕事なのでそこが大変。また、

冬になると雪かきも大変だと言う。仕事に対する姿勢では、  
「新しいことに挑戦」を信念とし、誰も見つけていない

ことを見つけようと考えている。

アツモリソウの研究は自分しか行って  
いないことなので、そこに価値を感じ、  
研究者として、一番を目指して研究している。



Re bun in Japan

高校を卒業し、ホームステイで初めて日本に来る。そこで、日本を覗き入り大学卒業後再び日本へ。現在日本人と結婚し、礼文に移住した。現在、礼文町教育委員会で町内の子どもたちに英語を教えている。日本に来て困ったこともあたがい今はここ礼文で自然を楽しみ、礼文の人々と優しくに触れ合って日々を過ごしている。日本で生活していること自体が夢のように思っている。

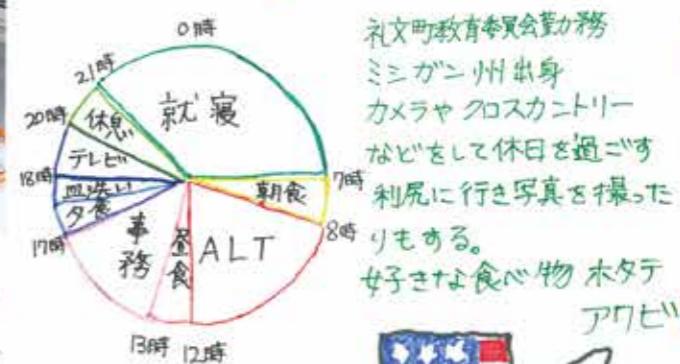


★★

team\_07  
アツモリ

藤田蘭／宮崎唯斗  
笠森和

## クリストファー・ブラウンさん



hobby

教室に入ってくるやいなや、趣味の写真とカメラの話しさせ始めた。

お気に入りの写真は礼文の夜景。

「Re bun winter」という自身の写真集を出している。

二台のミーテースは常に持ち歩き、本気で撮る時には2台のカメラと6本ほどレンズをカメラバッグに入れ、礼文を歩きまわる。

私たちに一生懸命カメラの説明をしていましたが、私たちにはさっぱり……。とにかく高価な機材がいいっぱいでました。



礼文に来る外国人に島をPRして下さい。



海岸線がとてもきれいだからね  
特別な島。日本に来たらきてほしい!!

